

小学校三年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第三学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、話すこと・聞くことにチャレンジしましょう。今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

かずやさんたちは、給食の係の中村先生なかむらから、「かむことの大切なはたらき」というテーマで話を聞きました。あなたも、かずやさんになったつもりで、話を聞きましょう。

中村先生 みなさん、こんにちは。今日は、「かむことの大切なはたらき」ということについてお話をします。

みなさんは、給食を食べるとき、よくかんで食べていますか。

給食では、小魚やごぼうなど、かたくて少し食べにくい物もときどき出てきますね。この小魚やごぼうのようなかたい食べ物は、みなさんにしっかりかんで食べてもらおうと思って、献立こんだてに加えられるのです。

それでは、「かむこと」には、どんなはたらきがあるのでしょうか。

「かむこと」の一番大切なはたらきは、食べた物を小さくつぶすことです。よくかむと、口の中にはたくさんのが出てきます。食べた物は、口の中でつばとよくまじりあい、飲みこみやすくなります。そして、よくかんで、食べた物がこまかなればなるほど、えいようになりやすいのです。

このほかに、「かむこと」には、歯はについての食べ物の取りのぞき、口の中をきれいにしたり、魚のほねなど食べられないものを見つけやすしたりするはたらきがあります。

このように、「かむこと」は、とても大切なことなのです。

今日は、みなさんに、「かむことの大切なはたらき」ということについてお話をしました。

これからみなさんも、給食を食べるときやおうちでごはんを食べるときなどには、今日の話を思い出しながら、しっかりかんで食べてくださいね。

放送はこれで終わりです。

それでは、問題用紙を開いて始めてください。